

社会福祉学科

取得可能な資格

社会福祉士(国)受験資格、精神保健福祉士(国)受験資格、
スクールソーシャルワーカー資格(課程修了証明)^{※1}

社会福祉主事任用資格、児童福祉司任用資格^{※2}、身体障害者福祉司任用資格、知的障害者福祉司任用資格

^{※1} 所定のカリキュラムを修了し、社会福祉士または精神保健福祉士の国家試験に合格することで、社団法人日本社会福祉士養成校協会の修了証が交付されます。
^{※2} 卒業後指定施設での実務経験(1年間)が必要ですが、社会福祉士国家試験若しくは、精神保健福祉士国家試験に合格している場合は実務経験が不要となります。

特長

就職者の約8割が福祉・医療系専門職。

豊富な実習先と国家試験対策で福祉職としての確かな力の獲得と資格取得を強力にバックアップします。



少人数制教育

入学直後から始まる演習では、10名程度の少人数で学習します。各種事例での討論や現職のプロを招いての講演、現場の見学を通して相談援助職に必要な様々な価値観を身に付けていきます。



充実の実習教育システム

社会福祉が対象とする多様な領域の実習先と、その領域の専門教員が揃っています。また、実習時期を2回に分け、実習後の振り返りと課題の抽出、その対策の検討と実践が有意義な経験に繋がるようにしています。



国家試験対策

社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験合格に向けて4年次からは対策講座を開講。試験の出題範囲に応じた各領域の専門教員による講義と個別指導で、国家試験合格に向けて強力にバックアップします。

VOICE

もっと教えて、富澤先生！
精神保健福祉士編



精 神保健福祉士は、国家資格です。一般的に精神障がい者の生活を支援する仕事と言われています。具体的には、うつ病や統合失調症などで医療機関に入院や通院している人や、施設を利用している人の相談に乗ったり、一緒に活動し、豊かな生活を送るためのかわりをしています。精神障がいは目に見えにくいことから誤解や偏見が生じるため、病気のつらさだけでなく、生活のしづらさをともなうことが多くあります。正しい理解を広めることが必要であり、とてもやりがいのある仕事です。また、一方で人間の一生にかかわる仕事とも言えます。子どもでは、虐待・不登校・ひきこもり・発達障がい・摂食障がい等でかわかり、大人では、育児不安・うつ病・統合失調症・自殺・PTSD(心的外傷後ストレス障がい)・認知症等でかわかります。いずれも私たちの生活にとって身近な問題であり、それだけ精神保健福祉士の活躍が期待される場面は多く存在します。福祉的なかわりが中心の仕事ですが、これら多くの問題に対応するためには、医学知識、心理学、社会学など幅広い学問やコミュニケーション技術を4年間でしっかり学ぶ必要があります。社会福祉学科は、多様な分野の対人援助の専門職を養成している大学全体としての特長を活かし、福祉を深く掘り下げて学びつつも、心理・医療・リハビリ・教育等、人を支えるために必要な隣接領域の学問を広く、バランス良く修めることができます。その学びは、社会に出て、他職種と連携して人を支援するときにきっと役立つと思いますし、長く専門職として活躍するために必要な力の土台になることでしょう。本気で人の支えになりたいという想いをもったみなさんとキャンパスでお会いできることを楽しみにしています。成長に本気！

福祉・介護 × 保育・教育 × 心理 × 医療技術・リハビリ

つながる、ひろがる、**チーム支援**の学び。



学校法人 薫英学園

大阪人間科学大学

人間科学部

●社会福祉学科 ●医療福祉学科[介護福祉専攻／視能訓練専攻] ●子ども保育学科
●健康心理学科 ●医療心理学科[臨床発達心理専攻／言語聴覚専攻] ●理学療法学科

入試広報センター TEL.06-6318-2020 | 〒566-8501 大阪府摂津市正雀1-4-1 | <https://www.ohs.ac.jp/>



時間割で見る対人援助のプロを目指す4年間

精神保健福祉士



資格取得と就職だけを目的にしない、

精神保健福祉士として活躍するために本当に必要な「価値ある能力」の獲得。

派手な教育ではないけれど、「成長に本気」な4年間が大阪人間科学大学にあります。

プロフェッショナルを目指すみなさんにお届けする

精神保健福祉士になった一人の学生の軌跡。

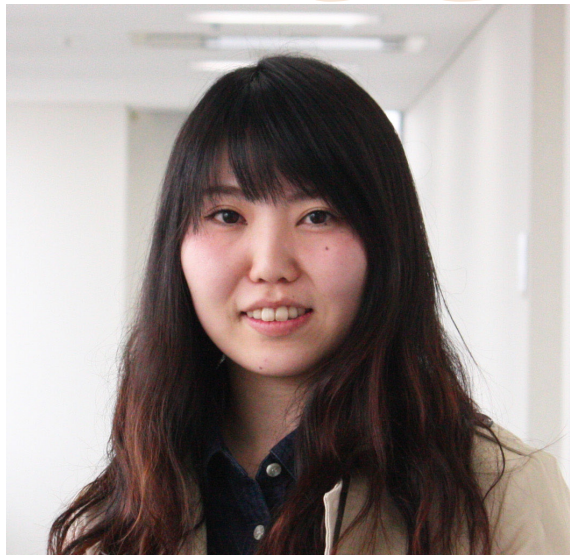
ぜひご覧ください。



成長に、本気。

大阪人間科学大学

成長は、本物。



学生 × 教員



4 年次生
小橋 鈴加 さん
社会福祉学科 2017年3月卒業
取得資格：精神保健福祉士・社会福祉士
就職：釜水病院
兵庫県立有馬高校出身

教員
富澤 宏輔 助教
所属：社会福祉学科
専門分野：精神保健福祉
精神障害者の生活支援システム
保有資格：精神保健福祉士、社会福祉士

福祉専門職を志したのは、高校時代の授業で出会った医療ソーシャルワーカー（MSW）の方の影響が大きいです。印象的だったのは、人の価値観に関すること。自分では当たり前と思っていることが、他者にとってはそうではない。相談支援をしていると様々な人と触れ合う機会があり、また、そこで多様な価値観を知ることができる。この話を聞いて福祉分野の相談支援職になろうと決意しました。大阪人間科学大学への入学動機が、MSW になるために必要な社会福祉士の資格取得だったこともあり、当初は精神保健福祉士にあまり興味がなかったというのが実際のところです。しかし、福祉の専門科目や実習を経験する中で精神障がい者の方の生活をより良いものにできるようかわりたいと思うようになりました。そして精神保健福祉士になるという選択に影響が大きかったのは、4 年次での精神保健福祉援助実習です。最初は精神科病院での実習に対する不安などから、実習に行くことへも消極的でしたが、実際に現地で患者さまの生の声を聴くことで、精神障がい者の方の支援をしたいという気持ちが強くなりました。

福祉専門職を目指すにあたって、在学中に心掛けたことはいくつかありますが、特に力を注いだのは障がいのある方と実際に触れ合う機会を多くもつことでした。3 年次以降にある学外実習や将来の仕事に向けてという思いからでしたが、2 年次にガイドヘルパーの資格を取得して福祉分野のアルバイトに積極的に取り組みました。また、学生の間に様々な経験をしておきたかったので、時間があれば児童の学習支援のボランティアや高齢者施設での一日実習にも参加するようにしていました。

社会福祉学科の魅力は色々ありますが、国家試験対策と就職サポートが充実していること。そして先生と学生の距離が近いところが特に良かったと思います。実際に、授業の空き時間は、些細な事でも先生の研究室を訪問し相談をさせていただいていました。私は、4 月から病院で精神保健福祉士として活動します。アルコールや薬物依存症治療に力を入れている病院ですが、専門職として依存症になる原因の解消を通じて患者さまの笑顔を取り戻したいと思っています。

疑問に思ったことを継続的に深く考えたり、それを明らかにするために現場に足を運ぶという姿勢は、精神保健福祉士として大切です。小橋さんは、入学当初から人や物事に関して幅広く興味・関心を持っていたようですが、4 年間学んだ今の彼女は、ただ目の前の状況を受け入れるのではなく、その目の前の出来事が「なぜそうなっているのか」を、問題意識を持って捉えることができていますので、今後の活躍がとても楽しみです。

成長のきっかけとしては、4 年次の精神保健福祉士の実習が大きかったと思います。既にボランティアや社会福祉士の実習経験があった小橋さんですが、精神科病院での実習開始時は不安もあってか、とても緊張していたように記憶しています。しかし、病棟で患者さまと話をする中で変化がありました。実習前に、精神科病院には長期で入院している患者さまが多く、退院に困難がある方も多いということを学んでいた彼女は、実際に患者さまと話をする中で患者さまの置かれている状況を知り、「なぜ退院できないのか」「退院に時間がかかるにしても、ご本人の思いをもっと尊重できないのか」という強い思いと、深く考える機会を得たのです。その後の施設実習でも精神障害者の地域生活のしづらさに着目し、熱心に取り組んでいたのが印象的でした。そして、彼女の成長を支えたと思うもう一つのきっかけは、福祉のボランティアやアルバイトです。精神保健福祉士や社会福祉士は、様々な現場で人にかかわります。その「様々な現場や人」を知るために、ボランティアは有効な方法です。本学科では、どの授業でも教員からボランティアや現場の情報を聞くことができます。さらに、もう少し深くかわりたい場合には、アルバイトがあります。小橋さんも、早い段階でガイドヘルパーの資格を取りアルバイトをしていました。現場を知り、かわきたいと思う相手の顔が見えることで、勉強していることの意味を理解できた。これが、彼女の加速度的な成長の背景にあったと思います。

自分自身の努力と本学科の段階的な教育の成果として、小橋さんは卒業前の二つの国家試験に見事合格しました。彼女にはこれを通過点に、福祉専門職として困難を抱える人を一人でも多く笑顔にして欲しいと思います。

小橋さんの時間割 145 単位修得 (卒業要件単位数 124 単位)

福祉分野の多様性を知る。コミュニケーション力をはじめ、支援者に必要とされる基礎を培う。

◎ 1 年次 (前期)

	月	火	水	木	金	土
1					人間科学概論	
2	相談援助演習Ⅰ		人間関係	福祉情報論	医学知識	
3	障害児教育論	相談援助の基礎と専門職Ⅰ	ソーシャルマナー	オンラインワークショップ (中国語)	心の科学	
4	FA 演習Ⅰ	オンラインワークショップ (英語)Ⅰ	相談援助の基礎と専門職Ⅱ			
5	社会福祉Ⅰ	社会学				

◎ 1 年次 (後期)

	月	火	水	木	金	土
1	社会福祉Ⅱ			FA 演習Ⅱ		
2	相談援助演習Ⅱ	法学	児童・家庭福祉論	老年心理学		
3	介護概論Ⅰ	コミュニケーション (ドイツ語)		心理学理論と心理的支援	文章表現法	
4					障害者福祉論	
5			精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ			

現場ゲストの講義や見学で関心分野を確定。相談援助職に必要なスキルと価値観を身に付ける。

◎ 2 年次 (前期)

	月	火	水	木	金	土
1	相談援助演習Ⅲ	精神保健の課題と支援Ⅰ	公的扶助論	プレ演習Ⅰ	相談援助の理論と方法Ⅱ	
2		相談援助の理論と方法Ⅰ	地域福祉の理論と方法Ⅰ			社会保障論Ⅰ
3			社会調査の基礎	自閉症児の心理	高齢者福祉論Ⅰ	
4			精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ			
5						

◎ 2 年次 (後期)

	月	火	水	木	金	土
1	相談援助演習Ⅳ	精神保健の課題と支援Ⅱ		プレ演習Ⅱ		
2	精神保健福祉相談援助の基礎	地域福祉の理論と方法Ⅱ			更生保護制度	社会保障論Ⅱ
3		就労支援サービス		コミュニケーション (中国語)	保健医療論	
4			精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ		権利擁護と成年後見	
5	相談援助実習指導Ⅰ	福祉サービスの組織と経営			高齢者福祉論Ⅱ	

社会福祉士の学外実習を経験。大学で学んだ知識・技術を実習経験で統合、専門性を深める。

◎ 3 年次 (前期) 学外実習 (12日間) 相談援助実習

	月	火	水	木	金	土
1						
2	精神保健福祉援助演習 (基礎)	精神疾患とその治療Ⅰ			精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	
3	相談援助実習指導Ⅱ	相談援助の理論と方法Ⅲ		キャリアデザインⅢ		
4						
5	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	人間福祉学演習Ⅰ				

◎ 3 年次 (後期) 学外実習 (12日間) 相談援助実習 集中訓練 相談援助演習Ⅴ

	月	火	水	木	金	土
1					精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ	
2		精神疾患とその治療Ⅱ			相談援助の理論と方法Ⅳ	
3	相談援助実習指導Ⅲ	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	福祉行政と福祉計画	キャリアデザインⅣ		
4						
5		人間福祉学演習Ⅰ				

精神保健福祉士の学外実習と国家試験対策。精神分野に学びを広げ、福祉の専門性を高める。

◎ 4 年次 (前期) 学外実習 (28日間) 精神保健福祉援助実習

	月	火	水	木	金	土
1		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ				
2						
3		精神保健福祉援助演習Ⅰ				
4		人間福祉学演習Ⅱ				
5						

◎ 4 年次 (後期)

	月	火	水	木	金	土
1		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ			社会福祉特論	
2						
3	精神障害者の生活支援Ⅰ				精神保健福祉援助演習Ⅱ	
4		人間福祉学演習Ⅱ				
5						

国家試験合格に向けて、国家試験対策講座と先生の個別指導を中心に対策を進めました。



STUDENT'S VOICE

3 年次以降の実習や就職活動を意識していたので、資格取得や卒業に必要な科目は早めに修得するように心掛けました。その兼ね合いもあって、1 年次はほぼ毎日大学に来ていましたし、かなり真面目な学生生活を送っていたと思います。(笑)

先生から教えてもらったガイドヘルパーの資格を取得し、障がいのある方の外出支援等のアルバイトや福祉系のボランティアを数多く経験しました。専門科目が増えてくる年次ですが、外での体験と大学での学びがリンクした時は、うれしかったです。

社会福祉士の国家資格に直結するはじめての長期実習でしたが、これまでの経験が活かされたのか、比較的落ち着いて実習に取り組みました。実習前後では、実習先の施設の特長や気を付けるべきことなど、先生からのサポートも心強かったです。

精神保健福祉士の学外実習と並行して卒業前の国家試験対策を進めました。計画的に履修していたので、大学での授業はこの時期ほとんどありませんでしたが、正直、かなり忙しかったです。試験対策のサポートは、期待以上でした。